

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8081
 住 所 東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎303
 氏 名 国家公務員共済組合連合会
 理 事 長 松元 崇

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	国家公務員共済組合連合会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,880	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度（報告年度 平成30年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,699 t-CO ₂ (調) 3,667 t-CO ₂	(実) 3,726 t-CO ₂ (調) 3,695 t-CO ₂	(実) 3,706 t-CO ₂ (調) 3,673 t-CO ₂	(実) 3,728 t-CO ₂ (調) 3,695 t-CO ₂	(実) 3,660 t-CO ₂
削減率		(実) -0.7 % (調) -0.8 %	(実) -0.2 % (調) -0.2 %	(実) -0.8 % (調) -0.8 %	(実) 1.1 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	照明設備の更新を行い年間約2.0t-CO ₂ の削減を行った。 CGSの排熱利用熱交換器の劣化により効率低下し、冷温水発生機の負荷が増えたためガス使用量が増加した。 そのため、CO ₂ 排出量は基準年と比較し0.7%増加した。
第2年度	冷温水発生器の更新を行い年間約49t-CO ₂ の削減を行った。 CGSのオーバーホールを行い、約1ヶ月間CGSの交互運転を行ったため、電気の使用量が増加した。 そのためCO ₂ 排出量は前年度と比較し、20t-CO ₂ の削減となった。
第3年度	使用しない区域の冷温水システムを切り離すことにより冷温水ポンプの負荷を減らすことによりINVポンプの負荷を減らし、年間約0.85t-CO ₂ の削減となった。 夏の記録的な猛暑により電気の使用量が増加し前年度と比較し22t-CO ₂ の増加となり、目標値には届かなかった。次期計画では目標を達成したい。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該 当者等)	計 画	○照明設備の運用管理 ○空気調和設備の新設、更新等における措置
	第1年度	○照明設備の運用管理 照明設備の更新を行い年間約2.0t-CO2の削減を行った。
	第2年度	○空気調和設備の新設、更新等における措置 冷温水発生機の更新を行い年間約49t-CO2の削減を行った。
	第3年度	○空気調和設備の新設、更新等における措置 空調システムの改修による制限を行い年間約0.85t-CO2の削減を行った。
自動車等 (第3号該 当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行う ・廃棄物の分別化の推進を図る。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い廃棄物の種類により分別を行った。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理（今年度分100%実施） 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進（今年度分100%実施） 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い廃棄物の種類により分別を行った。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理（今年度分100%実施） 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進（今年度分100%実施） 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い廃棄物の種類により分別を行った。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,617	t-CO ₂
(調)	3,569	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
虎の門病院分院	神奈川県川崎市高津区鏡ヶ谷1-3-1	8311	一般病院	3,617 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--